

平成30年度 第4回 朝日地域振興懇談会

次 第

日 時 平成31年3月27日（水）

午後1時30分開会

場 所 朝日庁舎4階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協 議

(1) 朝日地域振興計画について

(2) 地域まちづくり未来事業について

(3) その他

4. その他

(1) 平成31年度予算の概要について

(2) その他

5. 閉 会

【案】

朝日地域振興計画



「中山間地域の暮らしを守り、支える取組を進めます」

平成 3 1 年 3 月

鶴岡市朝日庁舎

目 次

	頁
1. 計画策定の要旨	1
2. 朝日地域の特性・概要	2
(1) 自然及び地理的条件	
(2) 歴史的条件	
(3) 社会的条件	
(4) 総論として	
3. 市民との対話や社会情勢の変化から得られた課題	6
(1) 現計画の取組に係る整理	
(2) 市民との対話から得られた課題	
4. 朝日地域のこれから目指す方向性と基本方針	8
基本方針1 『中山間地域における定住環境の支援』	
基本方針2 『森林資源、自然環境などを活用し、中山間地域に特化した農林業の振興』	
基本方針3 『自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興』	
5. 具体的な展開方策	9
基本方針1 『中山間地域における定住環境の支援』	
(1) 快適で安心・安全な環境整備への支援を進めます	
(2) 地域内生活交通の維持・確保を目指します	
(3) 高齢者がいきいきと生活できる環境整備を進めます	
(4) 地域を支える人材の育成を進めます	
基本方針2 『森林資源、自然環境などを活用し、中山間地域に特化した農林業の振興』	
(1) 中山間地における持続的な農業体系の整備を進めます	
(2) 森林資源の保全と有効な活用を進めます	
基本方針3 『自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興』	
(1) 観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます	
(2) 地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます	
6. 参考資料	13

1. 計画策定の要旨

平成17年10月の合併後、鶴岡市では各地域で築かれてきた地域特性や地域固有の資源を生かしたまちづくりを進めるため、特性ある地域発展に向けた中長期プロジェクトづくりとして平成20年3月に地域庁舎ごとに「地域振興ビジョン」を策定しました。

このビジョンにおいては、各地域庁舎で自然、歴史、文化、産業及び主要施策などの地域資源や地域特性、また地域の実態についての調査や分析を行いながら、これまでの活用方法等についての点検も行い、新たに活用すべき資源や解決すべき課題等についても調査、検討を深め、重点的に取り組むべき分野や政策課題を抽出して、具体的に施策として推進するための個別プロジェクトを設定しています。

また、平成25年には鶴岡市総合計画（後期基本計画）を策定するとともに、地域振興ビジョンの見直しを行い「朝日地域振興計画」を策定しています。

この「朝日地域振興計画」では、鶴岡市総合計画との整合性を図りながら、朝日地域の資源や特性を生かした地域振興をさらに推進していくため、「山の恵みを活かした複合農業の推進」「山村生活文化の継承による地域づくり」を基本方針に据え、それぞれのプロジェクトに取り組んできた経過があり、一定の成果を収めてきました。



しかし、少子高齢化のさらなる進行等、鶴岡市全体はもとより朝日地域を取り巻く環境も大きく変化しています。鶴岡市では、社会経済情勢の変化や本市が抱える課題に的確に対応し、第1次計画の終了から切れ目なく、誰もがいきいきと暮らし続けることができるまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための指針として第2次鶴岡市総合計画を策定しており、朝日地域においても第2次総合計画の策定に併せて、新しい「朝日地域振興計画」を策定することとしました。この計画においては、朝日地域振興懇談会をはじめとした地域住民からの対話の中から、改めて朝日地域の抱える課題を整理し、課題解決に向け『中山間地域の暮らしを守り、支える取組み』を取組の方針として、「中山間地域における定住環境の支援」「森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興」「自然、文化、風土など地域資源を活用した観光の振興」の二つを柱に据え、新たに策定します。

計画期間は2019年度から2023年度までの5年間とし、この計画に基づき朝日地域のさらなる振興・発展に向け取組を展開しながら、特色あるまちづくりを推進していきます。



2. 地域の特性・概要

(1) 自然及び地理的条件

朝日地域は鶴岡市の南端、庄内の最南端に位置する地域で、面積は569.17平方キロメートルと鶴岡市全体1311.53平方キロメートルの4割強を占める地域です。その大部分は山岳地帯で、山地面積は地域の約94%を占めており、うち60%が国有林であるとともに、磐梯朝日国立公園に指定されています。

東側には湯殿山、南側には朝日連峰の以東岳、西側には温海地域と接する摩耶山に挟まれた中、東の梵字川、西の大鳥川が地域を縦貫し、合流後は赤川として庄内平野の水源となっています。

河川沿いのY字に細長く集落が点在していることとともに、降雪量が極めて多いことが特徴で、山間部では積雪が3mを超える地域があります。

(2) 歴史的条件

朝日地域には、最も古いもので17,000年前といわれる旧石器時代の遺跡「越中山遺跡」をはじめ、月山、羽黒山、湯殿山の山岳信仰に関わる歴史が多く残っています。

また、1,200年前から開かれたとされる庄内と内陸を結ぶ出羽の古道「六十里越街道」が今も史跡とともに保存されています。



(3) 社会的条件

朝日地域全体として、世帯数、人口共に大きく減少が続いています。

5年刻みのデータにおいても、昭和35年の世帯数・人口を100とした場合、朝日地域全体では55年間で世帯数66、人口39.0と大きく減少しています。

特に大鳥地区は、世帯数16.4、人口5.7と極めて大きく減少していますが、これは昭和54年の大泉鉦山寿岡選鉦場及び柘形採鉦場閉山が要因としてあげられます。

地域全体としては、地域内の農業や建設業といった雇用を支える産業の衰退を受け、収入を確保するため市内外への転居等も多く、純粋な自然減以外の大きな要因と推察されます。

また、朝日地域での一番大きな課題は、1世帯当たり人員が大きく減少していることです。

人口減少率に対し世帯数の減少率が低く、1世帯当たりの構成員数が昭和35年の5.85人から平成27年の3.46人と大きく減少しています。

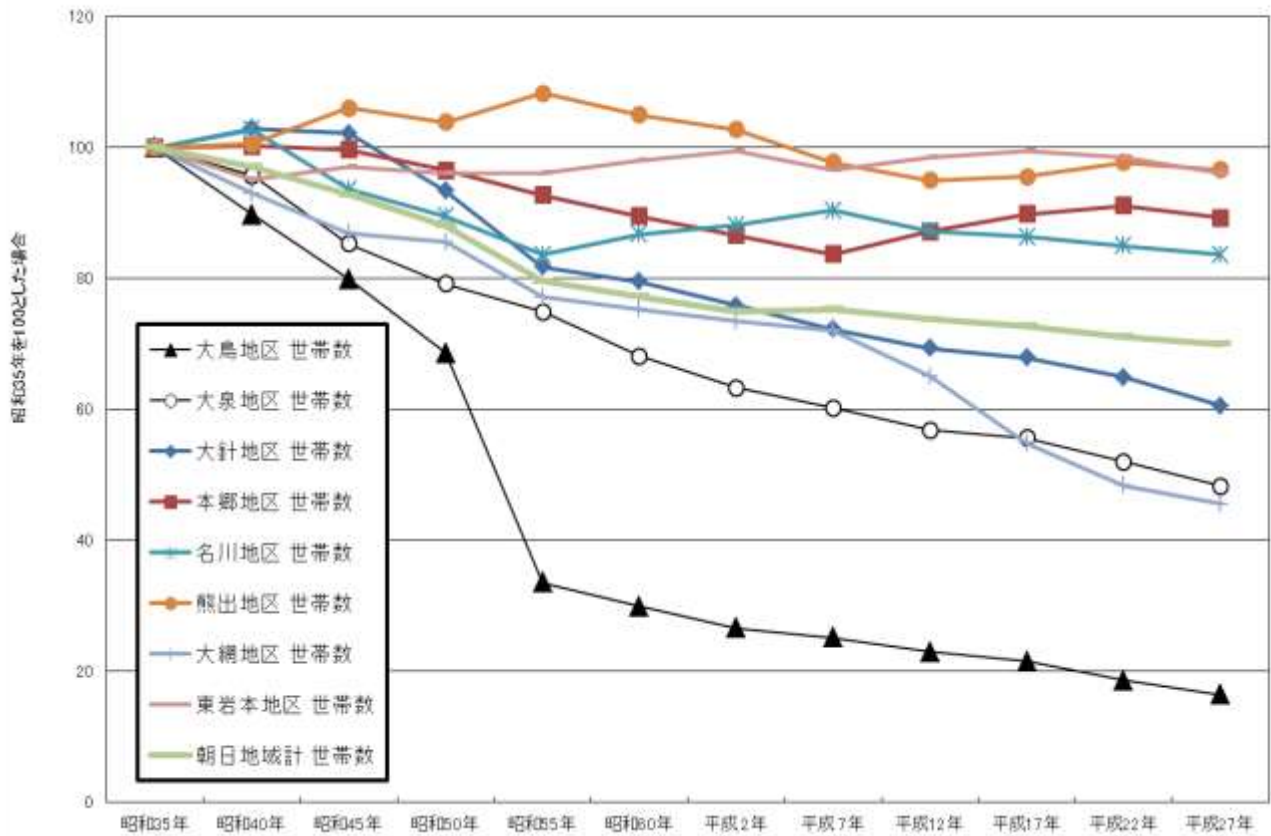
合わせて高齢化率も、65歳以上人口が全市平均33.63%に対し朝日地域が39.58%、75歳以上人口も18.26%に対し23.16%と市全体より高い数値を示しています。

かつ、年少人口も市全体11.38%に対し朝日地域9.44%と、より少子化が進んでいる状況にあります。世帯あたりの人口も含めた少子高齢化に伴う人口減少により、今後、世帯単位で行っていた農業や地域の共同作業等を支えることが困難となる可能性を示唆していると考えられています。

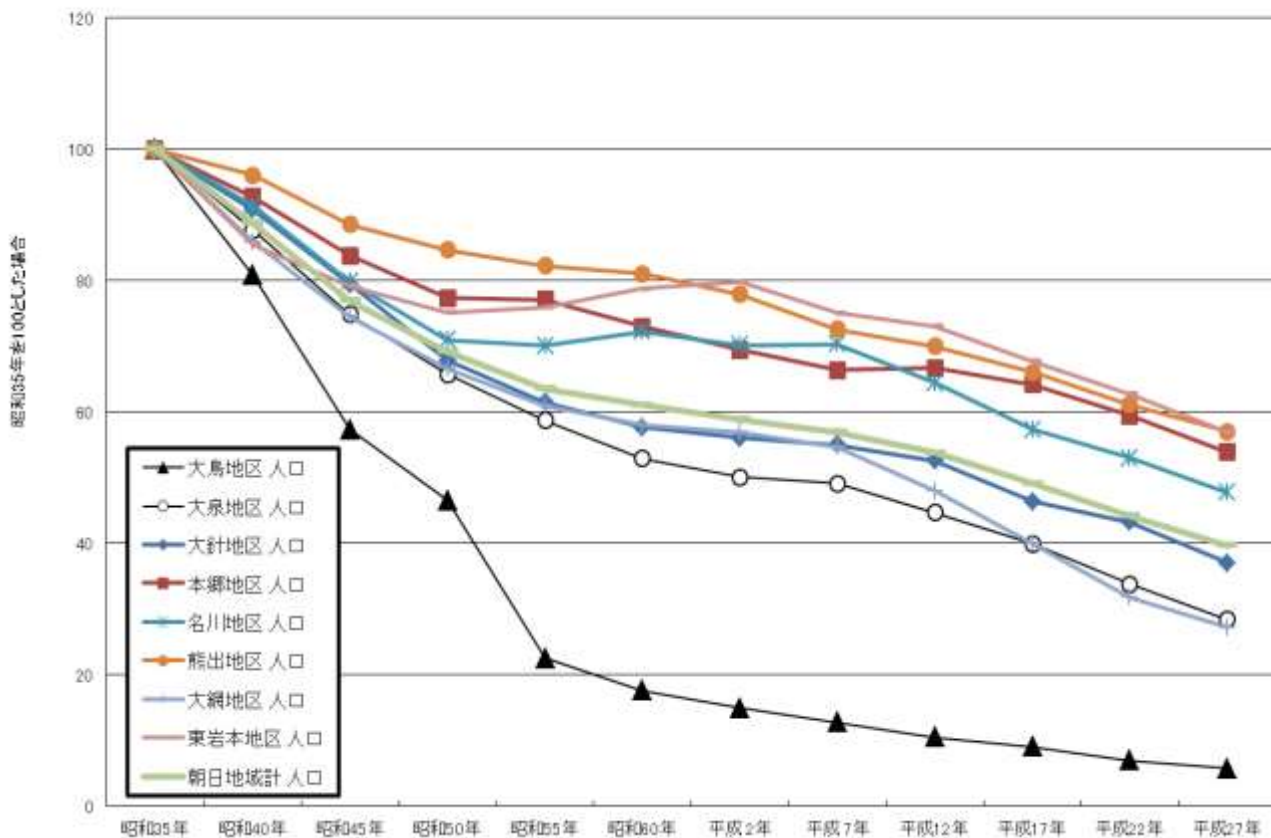
また、交通機関として庄内交通が路線バスを運行していますが、利用者数の減少により大鳥線及び田麦俣線ともに減便が進んでおり、減便に伴う廃止代替として平成29年度から平日各2便市営バスの運行で補完している状況です。

(参考資料)

(昭和35年から平成27年まで)朝日地域世帯数の推移

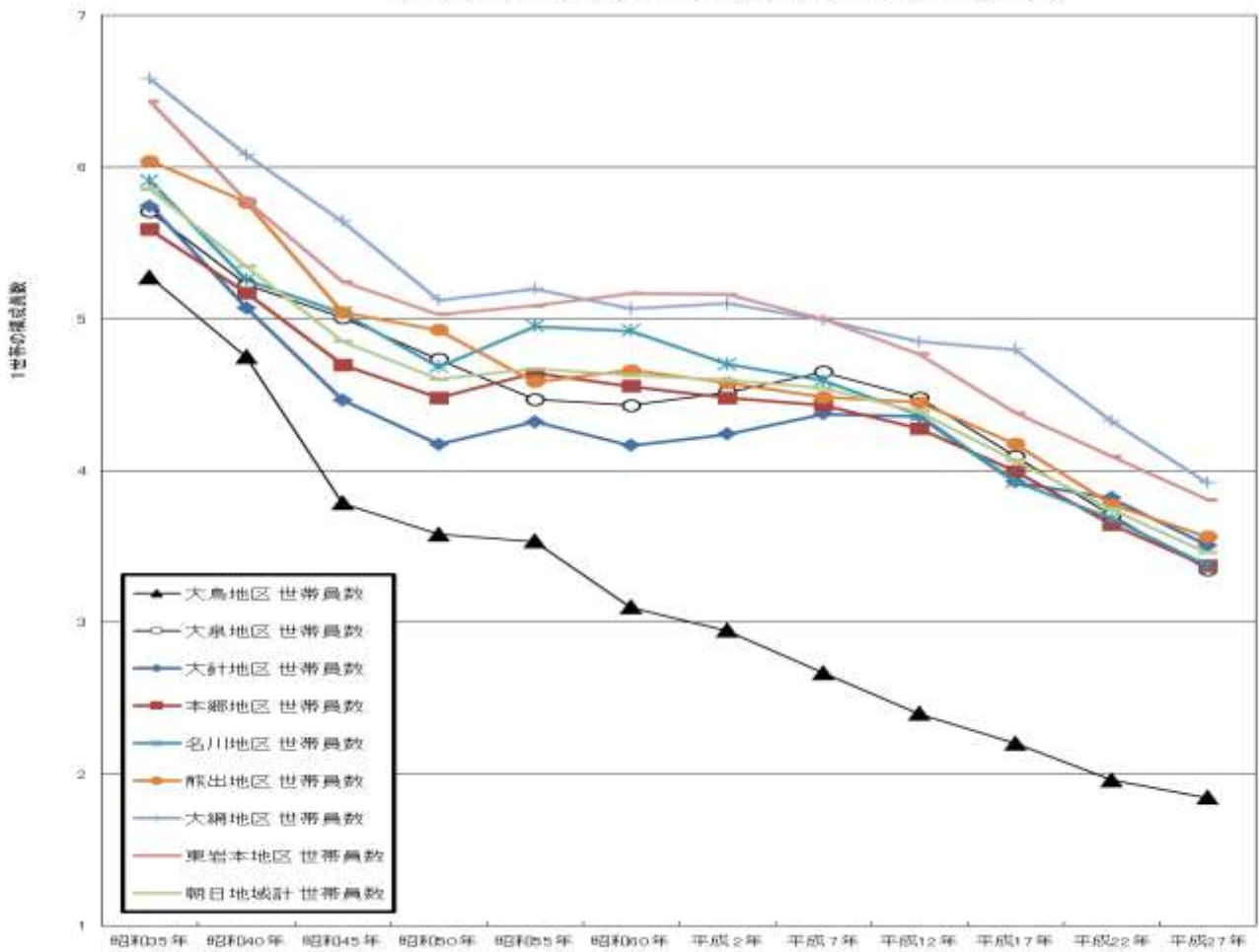


(昭和35年から平成27年まで)朝日地域人口の推移

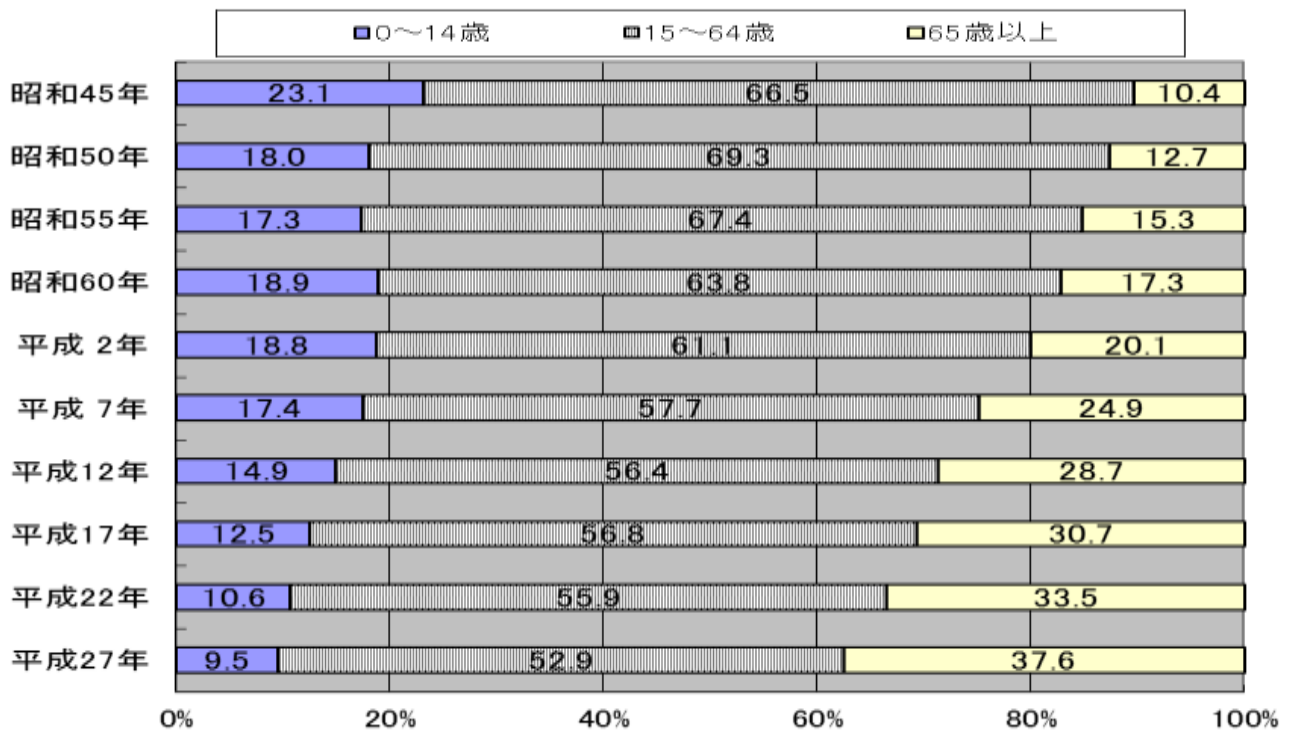


(参考資料)

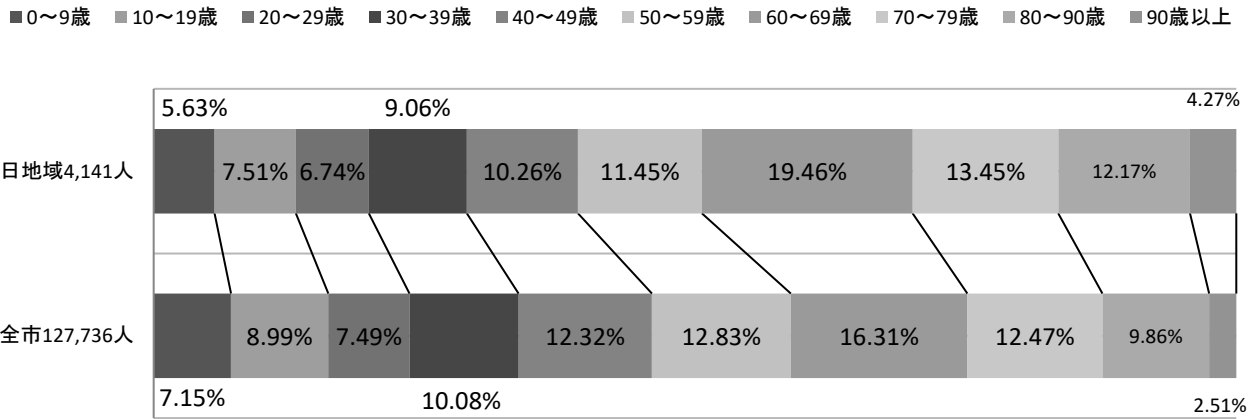
(昭和35年から平成27年まで)朝日地域世帯員数の推移



朝日地域全体 年代別人口構成の推移



年齢別構成比の詳細 (H30. 3. 31 町別各歳別人員集計表より)



(4) 総論として

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史と文化が育まれてきた地域です。

しかし、山間地が多く全国的にも有数の豪雪地帯であるうえに、学校・病院等の施設への距離も遠く、平野部に比較して気象・風土・地形に起因する不安要素も大きいことから厳しい定住環境にあります。

特に、市全体でも人口減少や少子高齢化が進む中、中山間地域である朝日地域は特にその傾向が顕著です。

また、通院・通学、買い物等、生活交通確保のために路線バス減便に伴い市営バスの運行で補完している状況です。



3. 市民との対話や社会情勢の変化から得られた課題

(1) 現計画の取組に係る整理

平成26年3月策定の「朝日地域振興計画」において、以下の「施策の方針」「具体的な展開方策」により取組を進めてきました。

「朝日地域振興計画」取組の概要

基本方針（1）山の恵みを活かした複合農業の推進

1 山ぶどう加工品開発の推進

月山ワインの新商品開発推進のため、山ぶどう研究所の施設改修を行ってきました。また、山ぶどうの新規加工品の開発として、山ぶどう原液を利用したお菓子の開発に取り組むとともに、栽培農家減少対策として醸造用ぶどうの苗木補助を行っています。

2 “山の恵み”産地化の推進

特産品のブランド力を高めるため、リーフレットの作成やSNSでの情報発信、首都圏で開催される物販でのPRを行いました。

また、市場動向の把握と販売戦略構築のための取組として「森の産直カー」の取組や市街地スーパーへのインショップ展開、地域農産品を活用した商品開発として「とちの実ロール」等の開発を行っています。

3 地域特性を生かした再生可能エネルギー活用

雪氷熱の活用研究として「あさひの雪蔵」を活用した、農産物の低温貯蔵による出荷調整等を行っています。

また、バイオマスエネルギーの活用策として、公共施設でのペレットストーブ導入や間伐の促進によりバイオマス発電所への間伐材の供給を行っています。



基本方針（2）山村生活文化の継承による地域づくり

1 六十里越街道“癒しと再生の道”づくり

マーケットの拡大のため、街道整備やトレッキングイベントの開催を行っています。

2 自然体験学習活動の推進

大鳥自然の家を核として自然体験プログラムや施設整備を行っています。

また、大鳥池・以東岳登山道や避難小屋の管理を行っています。

3 観光資源の再生と人材活用

トレッキングイベントの開催などを通し、街道案内人等の人材育成を進めています。

4 移住・定住の促進

集落維持機能の維持のため、広域コミュニティ組織を組織しました。

また、定住支援対策として大網地区で「小さな拠点」づくりの取組を行っています。

合わせて、移住推進施策の取組として「地域おこし協力隊」制度の導入や、全市として移住コーディネーターの配置や移住相談会等の取組を進めています。



(2) 市民との対話から得られた課題

① 住み慣れた地域に安心して生活できる環境の整備

前述のとおり、市全体でも人口減少や少子高齢化が進む中、中山間地域である朝日地域は特にその傾向が顕著で、山林や農地、雪下ろし等を含めた建物等の維持はもとより、長年維持されてきた集落機能が脆弱化し自治会運営・共同作業等、地域維持のための活動も困難となっています。今後ますます世帯員の減少と高齢化が進むことが予想され、関係人口の拡大も含め、地域を支える人材確保が急務となっています。



また、学校・病院等生活利便施設への距離も遠く、平野部に比較して気象・風土・地形に起因する不安要素も大きいことから厳しい定住環境にあります。

合わせて、農林業等の低迷が続く中、後継者や担い手不足により山林・農地の荒廃、有害鳥獣被害の増加が顕著で、耕作意欲の減退を招いている状況です。

今後も住み慣れた地域に住み続ける上では、住民一人ひとりの安全・安心が確保され、住み慣れた地域の中で健康に生活できる環境整備や、産業の振興、地域コミュニティの維持再生、交流の促進、自然環境、観光施設等の地域資源を活かした多角的な地域活性化の取組を進める必要があります。

② 克雪対策への支援

地域振興懇談会や住民懇談会、集落等での会合で話題となるのが「雪」への課題意識です。

朝日地域は全国でも有数の豪雪地帯です。豪雪と言われた平成29年度の場合、鶴岡市豪雪対策本部資料によると、鶴岡公園の最大積雪深が83cmであるのに対し、庁舎周辺の立岩で255cm、大網・大鳥地域でそれぞれ374cm、376cmと市中心地と比較し、3倍から4.5倍の積雪量が観測されました。

また、平年並みといわれる平成28年度最大積雪深も、鶴岡公園、立岩、大網、大鳥の各観測ヶ所で比較した場合、54cm、140cm、224cm、232cmと、平成30年度も50cm、176cm、278cm、263cmと、平成29年度と同じく3倍から4.5倍の積雪量が観測されています。

さらに、日々の除排雪作業や雪下ろしの判断基準となる降雪量累計も、鶴岡公園の537cmに対し、立岩で1,101cm、大網・大鳥地域でそれぞれ1,721cm、1,660cmと極めて多く、1日当たりの降雪量も大鳥で最大81cm、立岩でも68cmと豪雪と言われた鶴岡公園の最大積雪量83cmとほぼ同量の雪が24時間で降る日があります。

この豪雪により、玄関前除雪や屋根の雪下し等、除排雪作業のための労力が地域住民の大きな負担となつてのしかかることから、定住対策の上で大きな課題となっています。



4. 朝日地域のこれから目指す方向性と基本方針

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史と文化が育まれてきた地域です。しかし、全国的にも有数の豪雪地帯であり、山間地という地理的条件上、平野部と比較すると厳しい住環境にあり、人口減少や少子高齢化の傾向が特に顕著となっています。

地域住民がこれからも住み慣れた地域で安心・安全に生活するための取組として、引き続き住環境の整備支援と農林業及び観光業での産業振興を目指します。

『中山間地域の暮らしを守り、支える取組を進めます』

基本方針1 『中山間地域における定住環境の支援』

地域住民が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、地域内生活交通の確保や高齢者の克雪対策支援など、生活環境の整備・支援を行います。

また、住民主体による地域の実情に応じた集落対策を推進し、共通の課題を抱える集落間をつなぐなど広域的な視点から集落間の連携による生活基盤の維持・強化を進めるとともに、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を進めるほか、地域課題解決に向けた住民自らの取組みを支援します。

併せて、豊かな森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践や国際交流などにより、次世代を担う人材の育成を目指します。

- (1) 快適で安心・安全な環境整備への支援を進めます
- (2) 地域内生活交通の維持・確保を目指します
- (3) 高齢者がいきいきと生活できる環境整備を進めます
- (4) 地域を支える人材の育成を進めます



基本方針2 『森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興』

これまでの農業基盤や生産技術に創意・工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品（農産物）の販売支援、特産品の開発、既存商品のブラッシュアップ、農地保全のための仕組みづくり等を通し、中山間地型複合経営を目指します。

また、広大な森林資源を活用するための菌茸類等の栽培品目の開発や栽培技術の向上、新規生産者の育成に努め、特用林産物の販売数量の確保と資源循環を目指します。

- (1) 中山間地における持続的な農業体系の整備を進めます
- (2) 森林資源の保全と有効な活用を進めます



基本方針3『自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興』

通年型観光の拠点として湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、誘客を図るとともに、地域にある自然や文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通し、地域の活性化につながる観光振興を目指します。

- (1) 観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます
- (2) 地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます



5. 具体的な展開方策

基本方針1 中山間地域における定住環境の整備支援

- (1) 快適で安全・安心な環境整備への支援を進めます

① 過疎・中山間地域コミュニティ組織への支援

既存集落の維持を図るための施策とともに、住民主体による地域の実情に応じた集落対策を推進し、共通の課題を抱える集落間の“つなぎ役”の職員を配置し、広域的な視点から集落間の連携強化を目指します。



合わせて、大網地区をモデル地区として「小さな拠点」づくり推進事業に取り組み、基幹となる集落への生活機能の集約や生活交通の確保を図りながら、生活基盤の維持・強化を進めるとともに、地域の将来像として策定した「地域デザイン」に基づき、プランの具現化に向けた活動に対して支援を行い、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を進めます。

② 自主防災活動への参加促進と防災基盤の強化

自主防災組織を、災害対応力を十分に発揮できる活動組織とするため、訓練等を通じて育成支援を行うとともに、消防分署からの距離が遠く消防組織による火災対応に時間を要する可能性がある地域に対し住民自らが初期消火を行うことのできる体制づくりを検討するとともに、消防施設などの整備を進めます。また、地域防災拠点施設として朝日庁舎の整備を進めます。

③ 身近な地域課題に住民自らが取り組む仕組みづくり

地域内の三つのコミュニティセンターを中心に、地域課題解決に向けた住民自らの取組を支援するとともに、住民が集う拠点施設として維持管理を行うとともに、施設の整備拡充を進めます。

④ 快適で安心・安全な住まいづくりへの支援

朝日地域に定住し続ける上で雪は大きな課題であり、定住環境整備のため克雪住宅及び生活道整備への支援等、克雪対策を引き続き推進します。また、地域内での玄関前除雪に対する支援を行います。

⑤ 情報化社会に対応した情報通信基盤の整備

過疎地域の情報格差是正のため、ブロードバンド整備等の情報通信基盤整備を進めます。

(2) 地域内生活交通の維持・確保を目指します

① 地域内生活交通の確保

住民が参画する利用拡大協議会により検討を進めながら、地域の実情や需要に応じた市営バスの運行や地域内運送への支援等、利用者の視点に立った地域公共交通対策を進めます。



② 高校生通学費への支援

遠距離通学者への定住支援のため、高校生通学費への支援を行います。

(3) 高齢者がいきいきと生活できる環境整備を進めます

① 健康長寿を目指した取組

高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らしていくため、高齢者の自立促進と健康寿命の延伸を目標に、介護予防・健康増進事業の取組や、関連福祉団体との連携、地域資源の活用などにより高齢者支援体制の拡充を進めます。

② 医療環境の整備

利用者の大半を高齢者が占めている国保直営診療施設(上田沢診療所・大網診療所)をより安心して利用することができる施設となるよう、医療体制・医療機器の整備拡充を進めます。

(4) 地域を支える人材の育成を進めます

① 国際理解の推進・人材育成

旧村では国際的視野を持った青少年の育成に力を注ぎ、併せてその訪問先であるタイ国「子どもの村学園」とは、組織的にも個人的にも多くの交流を育んできました。

事業の実施により地域はもとより市に有為な人材を育成するとともに、さらなる国際親善を育み、地域づくりに向けた市民相互の交流に発展させることを目指します。

② 自然環境教育実践施設の整備充実

豊かな森林資源と自然環境を活用し、市民と森林との新たな関係を築き、次世代を担う子どもたちをはじめ幅広い年代の研修施設として、目的に沿った様々な活動プログラムを提供していく自然環境教育実践施設として、大鳥自然の家を整備拡充を進めます。



③ 地域情報の発信

地域に伝承される伝統行事、生活文化、風習等と合わせ、地域での活動を紹介する機会を提供し、地域理解を深めてもらう取組を進めます。

(1) 中山間地域における持続的な農業体系の整備支援を進めます

- ① 山ぶどうの振興
山ぶどうの生産から加工、販売促進までの総合的な支援を進めます。
- ② そばの生産振興
そばの生産から加工、販売までの総合的な支援を進めます

- ③ 地場産品直売施設整備の検討
産直施設を拠点施設として、出荷手段を持たない高齢者等への支援により生産拡大を図るとともに、食文化の情報発信、特産加工品の試験研究開発や6次産業化の拠点施設等として、複合的機能を持った施設の整備検討を進めます。



- ④ 鳥獣被害対策への支援
熊、サル、イノシシなどの有害鳥獣被害防止対策への支援を進めます。
- ⑤ 地域伝統料理の継承
地域に伝承された季節の郷土料理や催事料理の再現により、文化の保存と地域理解を深める取組を支援します。
- ⑥ 交流による販路の拡大
国内友好都市との交流を通し、交流人口の増や特産品の販路拡大を目指します。

(2) 森林資源の有効な保全と活用を進めます

- ① 特用林産品の生産支援
山菜・菌茸類の生産拡大を支援するため、栽培技術研修や種苗助成により生産者の増加を図るとともに、集出荷や販売への支援を行います
- ② 森林荒廃防止対策への支援
荒廃森林の増加を食い止めるため、森林整備の際に生じた木材等を特用林産品生産へ活用する取組への支援を行います。

基本方針3 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

(1) 地域の観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます。

- ① 道の駅「月山」の施設整備及び拡充
湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせることによって、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を通し誘客を図るとともに、通年型観光の拠点施設の更新整備を進めます。
- ② あさひ自然体験交流施設の施設整備及び拡充
湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村の今後の活用方針について検討するとともに、施設の更新整備を進めます。



(2) 地域の自然、文化、食の魅力発信を進めます

① 地域資源を活用した情報発信
自然や文化、食等を地域の特色ある資源として、SNS
等を活用し情報発信を進めます。

② 地域資源を活用するための環境整備への支援
六十里越街道、大鳥池、以東岳をはじめとする朝日連峰
等、地域の資源を活用し誘客を図るため、地域資源の環境
整備を進めます。

③ 地域内の観光資源をつなぐ交通の確保
歴史や自然など地域の観光資源を結ぶ二次交通の確保を進めます。



6. 参考資料

鶴岡市の人口統計

単位：人

	市全体	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域
平成21年	139,619	96,130	11,565	9,351	8,062	5,093	9,418
平成22年	138,499	95,605	11,465	9,233	7,982	5,002	9,212
平成23年	137,453	95,159	11,329	9,145	7,914	4,926	8,980
平成24年	136,146	94,619	11,137	9,046	7,783	4,834	8,727
平成25年	135,403	94,477	10,999	8,947	7,699	4,759	8,522
平成26年	133,831	93,688	10,847	8,814	7,605	4,615	8,262
平成27年	132,313	92,918	10,696	8,681	7,480	4,488	8,050
平成28年	130,849	92,045	10,516	8,592	7,437	4,400	7,859
平成29年	129,323	91,283	10,373	8,448	7,316	4,282	7,621
平成30年	127,736	90,490	10,176	8,287	7,205	4,141	7,437

* 10年間での

減少数	-11,883	-5,640	-1,389	-1,064	-857	-952	-1,981
減少率	-8.51%	-5.87%	-12.01%	-11.38%	-10.63%	-18.69%	-21.03%

朝日地域人口の推移(地域別5年ごとの比較)

単位：人

	大鳥地区	大泉地区	大針地区	本郷地区	名川地区	熊出地区	大網地区	東岩本地区	朝日地域計
昭和35年	1,445	1,866	787	2,090	1,300	1,087	1,415	1,325	11,315
昭和40年	1,168	1,636	715	1,939	1,188	1,044	1,216	1,133	10,039
昭和45年	829	1,397	625	1,752	1,038	963	1,055	1,049	8,708
昭和50年	673	1,226	534	1,617	923	921	943	996	7,833
昭和55年	325	1,095	484	1,611	911	894	863	1,007	7,190
昭和60年	254	988	454	1,526	940	881	821	1,044	6,908
平成 2年	215	935	441	1,451	912	847	806	1,058	6,665
平成 7年	184	916	433	1,387	914	789	774	995	6,392
平成12年	151	833	414	1,394	838	761	679	968	6,038
平成17年	130	745	365	1,342	746	718	566	898	5,510
平成22年	100	630	340	1,243	689	665	450	831	4,948
平成27年	83	529	291	1,126	621	620	384	754	4,408

* 55年間での

減少数	-1,362	-1,337	-496	-964	-679	-467	-1,031	-571	-6,907
減少率	-94.26%	-71.65%	-63.02%	-46.12%	-52.23%	-42.96%	-72.86%	-43.09%	-61.04%

*注：全市人口総計と異なる理由は、熊出地内の施設入所者を除いたため

朝日地域世帯数の推移(地域別5年ごとの比較)

単位：世帯

	大鳥地区	大泉地区	大針地区	本郷地区	名川地区	熊出地区	大網地区	東岩本地区	朝日地域計
昭和35年	274	327	137	374	220	180	215	206	1,933
昭和40年	246	313	141	375	226	181	200	196	1,878
昭和45年	219	279	140	373	206	191	187	200	1,795
昭和50年	188	259	128	361	197	187	184	198	1,702
昭和55年	92	245	112	347	184	195	166	198	1,539
昭和60年	82	223	109	335	191	189	162	202	1,493
平成 2年	73	207	104	324	194	185	158	205	1,450
平成 7年	69	197	99	313	199	176	155	199	1,407
平成12年	63	186	95	326	192	171	140	203	1,376
平成17年	59	182	93	336	190	172	118	205	1,355
平成22年	51	170	89	341	187	176	104	203	1,321
平成27年	45	158	83	334	184	174	98	198	1,274

* 55年間での

減少数	-229	-169	-54	-40	-36	-6	-117	-8	-659
減少率	-83.58%	-51.68%	-39.42%	-10.70%	-16.36%	-3.33%	-54.42%	-3.88%	-34.09%

1世帯当たり世帯人員の推移

単位:人

	大鳥地区	大泉地区	大針地区	本郷地区	名川地区	熊出地区	大網地区	東岩本地区	朝日地域計
昭和35年	5.27	5.71	5.74	5.59	5.91	6.04	6.58	6.43	5.85
昭和40年	4.75	5.23	5.07	5.17	5.26	5.77	6.08	5.78	5.35
昭和45年	3.79	5.01	4.46	4.70	5.04	5.04	5.64	5.25	4.85
昭和50年	3.58	4.73	4.17	4.48	4.69	4.93	5.13	5.03	4.60
昭和55年	3.53	4.47	4.32	4.64	4.95	4.58	5.20	5.09	4.67
昭和60年	3.10	4.43	4.17	4.56	4.92	4.66	5.07	5.17	4.63
平成2年	2.95	4.52	4.24	4.48	4.70	4.58	5.10	5.16	4.60
平成7年	2.67	4.65	4.37	4.43	4.59	4.48	4.99	5.00	4.54
平成12年	2.40	4.48	4.36	4.28	4.36	4.45	4.85	4.77	4.39
平成17年	2.20	4.09	3.92	3.99	3.93	4.17	4.80	4.38	4.07
平成22年	1.96	3.71	3.82	3.65	3.68	3.78	4.33	4.09	3.75
平成27年	1.84	3.35	3.51	3.37	3.38	3.56	3.92	3.81	3.46

人口構造の推移(構成比)

年次	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総計
昭和45年	23.1	66.5	10.4	100.0
昭和50年	18.0	69.3	12.7	100.0
昭和55年	17.3	67.4	15.3	100.0
昭和60年	18.9	63.8	17.3	100.0
平成2年	18.8	61.1	20.1	100.0
平成7年	17.4	57.7	24.9	100.0
平成12年	14.9	56.4	28.7	100.0
平成17年	12.5	56.8	30.7	100.0
平成22年	10.6	55.9	33.5	100.0
平成27年	9.5	52.9	37.6	100.0

注:人口統計資料については住民基本台帳による

総農家数(単位:世帯)

	朝日地域	鶴岡市全体
昭和35年	1,106	
昭和40年	1,109	
昭和45年	1,100	
昭和50年	1,033	10,970
昭和55年	983	10,398
昭和60年	894	9,483
平成2年	803	8,609
平成7年	764	7,614
平成12年	701	6,944
平成17年	639	6,428
平成22年	564	5,651
平成27年	483	4,972

(再掲)

朝日地域地域別農家数の推移

	本郷	大泉	東	朝日総数	減少率
平成17年	303	114	222	639	—
平成22年	272	100	192	564	-11.74%
平成27年	229	84	170	483	-14.36%

注:記載区分は旧村単位による

朝日地域の経営耕地規模別農家数

	0.5ha未満	1.0ha未満	2.0ha未満	3.0ha未満	3.0ha以上	例外規定	総数
昭和60年	182	197	297	155	62		893
平成2年	132	185	278	137	71		803
平成7年	160	173	260	107	64	2	766
平成12年	154	164	216	101	64		699
平成17年	76	127	192	82	62		539
平成22年	79	112	137	47	68	1	444
平成27年	31	90	102	54	65	1	343

朝日地域の経営耕地面積(単位:ha)

	田	畑	樹園地	総計	変化率
昭和35年	931	147	27	1,105	—
昭和40年	949	130	56	1,135	2.71%
昭和45年	985	127	72	1,184	4.32%
昭和50年	987	120	114	1,221	3.13%
昭和55年	1,024	110	107	1,241	1.64%
昭和60年	1,023	80	125	1,228	-1.05%
平成2年	1,026	93	94	1,213	-1.22%
平成7年	936	65	81	1,082	-10.80%
平成12年	886	66	59	1,011	-6.56%
平成17年	792	40	58	890	-11.97%
平成22年	626	40	57	723	-18.76%
平成27年	613	40	46	699	-3.32%

朝日地域販売農家の専兼業別農家数 単位:戸

	農家数			構成比		
	農家数	第1種兼業	第2種兼業	農家数	第1種兼業	第2種兼業
昭和60年	16	146	732	2	8	89
平成2年	11	36	676	2	10	86
平成7年	13	76	585	2	11	84
平成12年	16	52	536	3	5	85
平成17年	30	48	456	6	10	80
平成22年	49	44	333	12	38	50
平成27年	44	55	229	16	29	55

朝日地域の男女別・年齢階層別農家人口

男性

	総数	14歳以下	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
平成12年	1530	244	269	365	301	217	134
平成17年	1296	168	223	264	312	164	165
平成22年	958	119	142	184	252	118	143
平成27年	695	77	81	136	175	122	104

女性

	総数	14歳以下	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
平成12年	1668	252	262	376	286	252	240
平成17年	1404	176	215	281	270	199	263
平成22年	1039	114	149	167	238	128	243
平成27年	736	65	87	126	181	108	169

総計

	総数	14歳以下	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
平成12年	3,198	496	531	741	587	469	374
平成17年	2,700	344	438	545	582	363	428
平成22年	1,997	233	291	351	490	246	386
平成27年	1,431	142	168	262	356	230	273

注:農業統計資料については農林業センサスによる



地域まちづくり未来事業について

【平成30年度第1回地域振興懇談会資料から】

【経過及び取り組みの方針】

また、「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を基金の目的とし「地域まちづくり未来基金」を創設しており、基金を充てる事業として地域振興計画からの具体的展開方策とする「まちづくり未来事業計画」に位置付ける事業を対象として、計画の具現化を推進します。

【計画年度】

まちづくり未来事業計画 平成31年度からの3年間

- * 地域まちづくり未来事業計画策定において重視すべき視点
 - ・ 自立分散型のまちづくり
 - 地域が主体的に活動する取り組み
 - 地域の意欲・創意が生かせる取り組み
 - 地域が元気を出せる取り組み
 - 地域の特色を生かした（地域の意欲的活動を後押しする）取り組み
 - 地域の特色を生かした独創的企画を奨励する取り組み
 - ・ 人材づくり
 - 事業推進を通して、地域を支える人材が生まれ育っていく取り組み
 - 移住定住も含め、意欲にあふれる人材の登場を促す取り組み

◆ 朝日地域まちづくり未来事業計画の概要 ◆



【現状分析】朝日地域は...

緑豊かな自然・歴史が織りなす文化
森林資源などの大いなる恵み

=

豪雪・自然災害等が発生
定住する上では厳しい自然環境

時代とともに変化しつつある要因

少子・高齢化や人口減少が顕著 = 集落機能の維持が困難
就業構造の変化 = 第1次産業従事者の減少・後継者不足



課題に対応するための地域振興の方針：「中山間地域の暮らしを守り、支える取組み」

地域振興の3本の柱として...

I 中山間地域における定住環境の支援

1. 快適で安心・安全な環境整備への支援を行います

助け合い玄関前除雪支援事業

2. 地域内生活交通維持・確保を目指します

高等学校等生徒通学費支援事業
地域内運送サービス試験運行事業

3. 高齢者がいきいきと生活できる環境整備を進めます

介護予防・健康増進事業（かたくり温泉入浴施設管理事業）

4. 地域を支える人材の育成を進めます

「子どもの村学園」国際交流派遣事業
地域情報広報事業
大鳥自然の家環境整備事業

II 森林資源、自然環境等 を活用し、中山間地に 特化した農林業の振興

1. 中山間地域における持続的な農業体系 の整備を進めます

伝統料理の継承事業
（仮称）産業振興施設整備事業
山ぶどう産業自立支援事業
朝日産そば提供拠点整備事業

2. 森林資源の有効な保全と活用を目指し ます

山の恵み産地化事業
森林荒廃防止支援事業

III 自然、文化、風土等、地域資源 を活用した観光の振興

1. 地域の観光振興施設と観光者受入環境 の整備を進めます



道の駅「月山」整備事業
あさひ自然体験交流施設維持管理事業

2. 地域の自然・文化・食の魅力発信を進 めます



観光市営バス運行事業
タキタロウネット活用事業
食と六十里越街道トレッキング連携事業
大鳥地域淡水活性化事業




【暮らしを守る取組】

【暮らしを支える取組】





地域振興の基本方針の位置付け	I 中山間地域における定住環境の支援					
プロジェクト名	1. 地域内生活交通の維持・確保を目指します					
プロジェクトの目的	学校、病院等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立ったきめ細やかな地域内交通対策を推進します。					
プロジェクトの概要	(1) 高校通学時のバス定期購入費用に自己負担上限を設け、差額を市が補助することで、保護者の経済的負担を軽減する支援を行います。 (2) 自宅から公共施設等への移動支援サービス試験を実施します。					
期待できる効果	(1) 通学時に公共交通機関の利用が促進され、高校生保護者世帯の経済的・送迎に伴う時間的な負担の軽減が期待できます。 (2) 今後の地域公共交通のあり方を検討する基礎資料にするとともに、高齢者への外出支援により健康増進や生きがいづくりの創出が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	高等学校等生徒通学費支援事業				
	(2)	地域内運送サービス試験運行事業				制度検討
事業費見込(千円)	2019	2020	2021	2022以降	計	
	4,047	4,140	4,140	3,857	16,184	



地域振興の基本方針の位置付け	I 中山間地域における定住環境の支援				
プロジェクト名	2. 快適で安心・安全な環境整備への支援を進めます				
プロジェクトの目的	雪による経済的及び精神的負担を軽減するため、除雪支援や克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進します。 また、高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図ります。				
プロジェクトの概要	(1) 要支援者宅の玄関前除雪作業に対する支援を行います。 (2) 温泉入浴施設管理運営への支援を行います。				
期待できる効果	(1) 除排雪の労力負担により転出を余儀なくされる要支援者世帯の負担を軽減し、定住化を促す効果が期待できます。 (2) 温泉入浴施設の活用により、介護予防事業等への参加がなかった住民のきっかけづくりとなり、参加者の増加が期待できます。				

実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	助け合い玄関前除雪支援事業				
(2)	介護予防・健康増進事業					
事業費見込 (千円)	2019	2020	2021	2022 以降	計	
	6,920	6,920	6,920	6,920	27,680	

地域振興の基本方針の位置付け	I 中山間地域における定住環境の支援					
プロジェクト名	3. 地域を支える人材の育成を進めます					
プロジェクトの目的	豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進めます。また、交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進します。併せて、地域情報の発信により、地域理解を深めてもらう取組を推進します。					
プロジェクトの概要	(1)タイ国「子どもの村学園」への中高生派遣事業を支援します。 (2)伝統行事、地域イベント等を紹介するカレンダーを制作します。 (3)大鳥自然の家の環境教育プログラムの開発や施設環境整備を行います。					
期待できる効果	(1)これまで民間レベルでの交流を展開してきた活動に支援を行うことで、継続した派遣事業として国際交流の人的ネットワークを広げ、地域を支える人材育成の効果が期待できます。 (2)行政情報や地域行事、地域の多様な資源や魅力等を地域住民に周知することで、各種の行事や活動への理解を深め、コミュニティ活動のきっかけになることが期待できます。 (3)自然環境教育を通じた地域の自然や文化を再認識する機会とし、次世代を担う青少年の健全育成が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	「子どもの村学園」国際交流派遣事業				
	(2)	地域情報広報事業				
	(3)	大鳥自然の家環境整備事業				



事業費見込 (千円)	2019	2020	2021	2022 以降	計
	6,547	22,582	12,582	18,467	60,178



地域振興の基本方針の位置付け	Ⅱ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
プロジェクト名	1 中山間地における持続的な農業体系の整備を進めます					
プロジェクトの目的	<p>農業者の生産意欲を喚起するため、月山ワイン、山菜、そば等、地域内農産品の生産振興や新たな特産品開発への支援、交流等による販路拡大のための取組を推進します。また、鳥獣被害防止対策の取組を推進します。</p>					
プロジェクトの概要	<p>(1) 伝統料理の再現・講習・提供等を通し、朝日地域の食文化を紹介する機会を提供します。</p> <p>(2) 観光・研究・交通等の複合的拠点施設の整備を支援します。</p> <p>(3) 山ぶどうの生産から販売まで総合的な支援を行います。</p> <p>(4) 地域産そば粉の消費拡大を支援します。</p>					
期待できる効果	<p>(1) 郷土料理や催事料理の保存・継承を行うことで、地域内の若い世代をはじめ地域外の方から地域理解を深めてもらうきっかけづくりになることが期待できます。</p> <p>(2) 産直施設機能に加え公共交通や観光案内の機能も集約した複合施設を整備することで、地域中心部の拠点化が推進され活性化が期待できます。</p> <p>(3) 山ぶどうの生産振興により、生産者や加工関係者の所得向上が期待できます。</p> <p>(4) そばの消費拡大により、生産者の所得向上が期待できます。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	伝統料理の継承事業				
	(2)	(仮称)産業振興施設整備事業				
	(3)	山ぶどう産業自立化支援事業				
	(4)	朝日産そば振興支援事業				
事業費見込 (千円)	2019	2020	2021	2022 以降	計	
	4,843	29,163	177,000	39,907	250,913	



地域振興の基本方針の位置付け	Ⅱ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
プロジェクト名	2. 森林資源の保全と有効な活用を進めます					
プロジェクトの目的	用材林、薪炭等の活用を推進するとともに、菌茸等の特用林産物の栽培研究や技術研究等を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進します。					
プロジェクトの概要	(1) 山菜・菌茸類の生産拡大を支援するため、栽培技術研修や種苗助成により生産者の拡大を図るとともに、集出荷や販売への支援を行います (2) 森林整備の際に生じた木材等を特用林産品生産へと活用する取組みへの支援を行います。					
期待できる効果	(1) 生産者の拡大や技術向上により、生産者の所得の向上が期待できます。 (2) 菌茸類の生産拡大による生産者の所得向上とともに、森林資源の循環を促し、水源涵養などの公益的機能の拡大が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	山の恵み産地化事業				
	(2)	森林荒廃防止支援事業				
事業費見込(千円)	2019	2020	2021	2022以降	計	
	2,400	2,700	2,700	2,700	10,500	

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

地域振興の基本方針の位置付け	Ⅲ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興				
プロジェクト名	1. 観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます				
プロジェクトの目的	湯殿山エリアへの通年型観光による誘客を図るため、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援します。				
プロジェクトの概要	(1) 通年型観光の拠点施設として、湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を通し誘客を図るとともに、施設の更新整備を進めます。 (2) 湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村の今後の活用方針について検討するとともに、施設の更新整備を進めます。				

期待できる効果	<p>(1)道の駅としての公益性を維持しつつ、来訪客に魅力あるイベント等を企画することにより、交流人口の拡大が期待できます。</p> <p>(2)スキー・スノーボード、オートキャンプの魅力を発信し来訪客の増加を図ることで、交流人口の拡大や雇用の場の確保が期待できます。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	道の駅「月山」整備事業				
	(2)	あさひ自然体験交流施設維持管理事業				
事業費見込 (千円)	2019	2020	2021	2022 以降	計	
	28,022	120,420	10,833	2,700	161,975	

地域振興の基本方針の位置付け	Ⅲ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
プロジェクト名	2. 地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます					
プロジェクトの目的	日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等の情報発信を図り観光資源として活用し、交流人口の拡大を図ります。					
プロジェクトの概要	<p>(1)地域住民の生活交通とともに、登山・観光シーズン中の来訪者の交通手段を確保するための観光市営バスを運行します。</p> <p>(2)デジタル簡易無線を活用し、登山客への情報提供を行います。</p> <p>(3)トレッキングと食文化の連携を図るイベントへの支援を行います。</p> <p>(4)大鳥池へのヒメマス放流に対する支援を行います。</p>					
期待できる効果	<p>(1)地域住民の利便性を高めるとともに、来訪客に対しては二次交通を確保することにより交流人口の拡大が期待できます。</p> <p>(2)携帯電話不感地域である朝日連峰の登山情報を無線により共有することで、登山者の不安を解消し、安全の確保が期待できます。</p> <p>(3)食と連携して六十里越街道の魅力を紹介することにより、観光の振興、特産品の消費や交流人口の拡大が期待できます。</p> <p>(4)資源を確保することで大鳥池の魅力を高め、朝日連峰への誘客効果が期待できます。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	観光市営バス運行事業				
	(2)	タキタロウネット活用事業				

	(3)	食と六十里越街道トレッキング連携事業				
	(4)	大鳥地域淡水活性化事業				
事業費見込 (千円)		2019	2020	2021	2022 以降	計
		4,120	4,120	4,120	4,020	16,380

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

平成31年度予算 朝日庁舎主要事業

資料3

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目 (細目事業名) 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計									
1	総務企 画課	2-1-1-19(朝日庁舎改築事業) ※朝日庁舎改築事業	庁舎	5,783			5,400	383	建設予定地である現朝日庁舎敷地内における地質調査業務を委託する
2	総務企 画課	2-1-7-30 (交通輸送対策事業) 交通輸送対策事業	庁舎	8,856	4,428			4,428	朝日地域市営バスの運行委託と共に、地域公共交通利用拡大のための取組を推進する
3	総務企 画課	2-1-7-175 (地域振興懇談会運営事業) 朝日地域振興懇談会運営事業	本所	1,357			1,357		地域振興計画の推進を図るとともに、地域課題の解決や地域振興、活性化を図るために、広く地域住民の意見を聴取し市政に反映する (朝日庁舎分274千円)
4	総務企 画課	2-1-7-310 (過疎対策推進事業) 集落対策推進事業	本所	4,966	2,483			2,483	集落対策事業の評価・検証の結果を踏まえ、「関係人口」の把握・活用、人口予測プログラムシミュレーションを実施し、地域ビジョンの策定を支援しながら、人口が減少しても住み続けられる地域づくりを推進する
5	総務企 画課	2-1-7-310 (過疎対策推進事業) 集落対策推進事業 (臨時職員等任用経費)	本所	4,517	2,258			2,259	集落支援員を配置し、集落点検等を通じた基礎調査を実施し、話し合いによる地域の将来像の共有を図りながら、具体的な取組への指導・助言を行う
6	総務企 画課	2-1-7-320 (「小さな拠点づくり」推進事業) 「小さな拠点づくり」推進事業	本所	38,474		36,600	90	92	大網地区における「地域デザイン」の実現に向けた実践活動への支援を行うとともに、活動拠点施設の整備を進める (H31 建物外構及び駐車場整備工事)
7	総務企 画課	2-1-7-550 (地域活性化事業) ※朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業	庁舎	3,857		3,800	57		自己負担額上限を6万円として、高校通学時にバス定期を購入する保護者への支援を行う

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
8	総務企 画課	2-1-7-550（地域活性化事業） ※「子どもの村学園」国際交流派遣事 業	庁舎	2,027			2,027		タイ国「子どもの村」学園への中高校生派遣事業への支援を行う
9	総務企 画課	2-1-7-550（地域活性化事業） ※地域内運送サービス試験運行事業	庁舎	190			190		自宅から公共施設等への移動支援サービス試験を実施する （大網地区「小さな拠点」づくりで実施している実証試験を他地域に拡大する。）
10	総務企 画課	2-1-7-550（地域活性化事業） ※助け合い玄関前除雪支援事業	庁舎	320			320		高齢者世帯等要支援者宅の玄関前除雪作業に対する支援を行う
11	総務企 画課	2-1-7-550（地域活性化事業） 地域情報広報事業	庁舎	170			50	120	地域内で行われている活動への理解を深めてもらい、積極的な参加を促すための取組の一つとして、地域振興カレンダーを作成し、周知を行う
12	総務企 画課	2-1-10-040（高度情報通信基盤施設 管理運営事業） インターネット通信管理運営事業	庁舎	67,334			67,334		朝日・榎引地域で運営している「e-でわネット」と「地域イントラ」の運営（ケーブルテレビ管理運営経費は榎引庁舎で計上）
13	総務企 画課	2-1-10-045（高度情報通信基盤施設 整備事業） 通信機器設備修繕	庁舎	6,000			437	5,563	上田沢・田麦俣地内 自治体ボックス電源装置（無停電用蓄電池設備）の更改
14	総務企 画課	2-1-13-025（広域コミュニティ推進 事業） コミュニティセンター指定管理運営	庁舎	17,307			383	16,924	朝日中央・朝日南部コミュニティセンター、大網地区地域交流センターの管理運営委託料（各広域コミュニティ組織に委託）等
15	総務企 画課	2-1-13-050（自治組織等運営活動対 策事業） 住民自治組織総合交付金	庁舎	12,944				12,944	各自治会に対し、運営活動を支援するため、従来の行政運営補助金、駐在員報酬のほか、市の他の各種補助金を統合した総合交付金を交付する
16	総務企 画課	2-1-13-025（広域コミュニティ推進 事業） 広域コミュニティ組織運営・地域づ くり交付金	庁舎	9,880	30			9,850	中央・南部・東部の各広域コミュニティ組織の事業運営等に交付する

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
17	総務企 画課	2-1-16-025（国内都市提携事業） ふるさと会支援事業	庁舎	466				466	首都圏庄内あさひ会の活動支援（補助金ほか）
18	総務企 画課	10-1-2-030（高等学校生徒学費補助事 業） 高等学校遠距離通学交通費補助金	本所	522				522	（予算配分はなし） 非課税世帯に対し通学費相当額の40%を補助
19	総務企 画課	10-4-4-020（芸術文化振興事業） 芸術文化振興事業	庁舎	1,746			96	1,650	芸術鑑賞会、感性教育講演会、朝日芸術文化協会 補助金、あさひ産業文化まつり補助金
20	総務企 画課	10-4-5-040（大鳥自然の家事業） 大鳥自然の家管理運営事業	庁舎	13,684			600	13,084	大鳥自然の家指定管理委託料等
21	総務企 画課	10-4-5-550（大鳥自然の家事業） 大鳥自然の家環境整備事業	庁舎	4,350		2,800	1,550		大鳥自然の家環境整備工事費（玄関のバリアフ リー工事）、子供用ライフジャケットの更新、自 然環境教育プログラム開発業務委託（炭焼き釜の 復元）
22	総務企 画課	10-4-5-105（旧遠藤家管理運営事業） 旧遠藤家住宅管理運営	庁舎	4,966			500	4,466	県指定文化財旧遠藤家住宅とその中に収蔵展示し ている民具を年間通して公開するとともに、その 保存管理を行う
23	市民福 祉課	2-1-1-025（庁舎管理業務） 2-3-1-020（戸籍住民基本台帳事務） 朝日庁舎南出張所運営事業	庁舎	1,195				1,195	朝日庁舎から距離のある大鳥地区及び大泉地区 における住民の利便性を確保するため、朝日庁舎 所管業務の一部を取り扱う窓口を出張所として設 置している なお、本施設は鶴岡市支所設置条例において規 定する支所であり、鶴岡市国民健康保険上田沢診 療所を併設している
24	市民福 祉課	3-1-1-030（各種福祉関係団体支援事業） 各種福祉関係団体支援事業	庁舎	79				79	福祉団体（朝日身体障害者福祉協会、朝日手をつ なぐ育成会）の運営費の一部を助成することによ り、団体の円滑な運営と社会福祉の推進を図る

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
25	市民福祉課	3-1-5-020（老人クラブ活動助成事業） 老人クラブ活動助成事業	庁舎	550	270			280	老人クラブの活動費の一部を助成することにより、高齢者の福祉と介護予防、健康増進を図る
26	市民福祉課	3-1-5-030（高齢者長寿祝賀事業） 敬老事業	庁舎	0				0	敬老会事業に対する補助金が、平成31年度から住民自治組織総合交付金に移行となるため予算措置無し。 なお、敬老会開催日程の調整及び敬老対象者名簿の自治会等への提供等は平成31年度も市民福祉課で対応する
27	市民福祉課	3-1-5-050（高齢者等活動支援施設運営事業） 朝日高齢者等活動支援施設運営事業	庁舎	7,131			855	6,276	健康の里ふっくらの運営により、高齢者などの生きがいくくりや健康管理、世代間交流などの地域活動拠点とする。多目的ホール屋根等を修繕
28	市民福祉課	3-1-5-115（高齢者施設運営事業） 朝日高齢者生活福祉センター運営事業	庁舎	3,205				3,205	冬期間などに在宅での生活が困難なひとり暮らし等高齢者に対し、一定期間、居住場所を提供し、併せて相談、見守り、配食等の生活支援を行う
29	市民福祉課	3-1-5-550（地域まちづくり未来事業） かたくり温泉入浴施設管理業務委託料	庁舎	6,600			6,600		「かたくり温泉ぼんぼ管理運営組合」に電気・水道料相当の委託料を支給し、運営を支援することで、市民の介護予防と健康増進を図る
30	市民福祉課	3-1-5-150（高齢者生活支援事業） 高齢者等雪下ろし費用補助事業	本所						自力で雪下ろしが困難な低所得高齢等世帯に対し、1回当たり16,000円を限度に補助する
31	市民福祉課	3-1-6-045（補装具給付事業） 補装具給付事業	庁舎	1,422				1,422	身体障害者の失われた身体機能を補完又は代替する用具である補装具の給付や修理を扶助することにより、身体障害者の職業その他日常生活の能力向上を図る
32	市民福祉課	3-1-6-080（障害者通所交通費助成事業） 障害者通所交通費助成事業	庁舎	140				140	心身障害者の身体障害者施設、障害福祉サービス事業所、地域活動支援センターへの通所に要する交通費を助成することにより、心身障害者の社会復帰及び社会的自立を促進する

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
33	市民福祉課	3-1-6-110（地域生活支援事業） 日常生活用具給付等事業	庁舎	567				567	在宅で重度身体障害を持つ方に日常生活用具を給付又は付与することにより、金銭面での負担軽減を図るとともに、日常生活を営む上での不便を解消し、自立した生活を営むことを目的とする
34	市民福祉課	3-2-1-035（放課後児童対策事業） 放課後児童対策事業	本所						昼間保護者のいない家庭の小学校児童の育成指導に資するため、学童保育所の運営を補助する 予算は本所一本化となっている
35	市民福祉課	3-2-2-020 （子どものための教育・保育給付事業） 保育所運営委託事業	庁舎	111,847				111,847	朝日保育園の管理運営について、指定管理者（社会福祉法人朝日ぶなの木会）に委託する （30年度から5年間の指定期間）
36	市民福祉課	3-2-2-050（通園対策費） 通園対策費	庁舎	11,950		6,100	792	5,058	保育園児をバスで送迎することにより、登降園時の安全確保と保護者の負担軽減を図る
37	市民福祉課	3-2-3-080（子育て支援センター事業） 朝日子育て支援センター事業	庁舎	7,951	5,300			2,651	在宅で子育てをしている家庭を中心に、子育て支援事業・サークル活動・各種講座の開催、遊び場の提供や育児相談等の実施により子育て家庭等に対する育児支援の充実を図る
38	市民福祉課	4-2-1-025（公衆便所維持管理事業） 公衆便所維持管理事業	庁舎	783				783	公衆便所2棟（落合・大網）の維持管理を行う
39	市民福祉課	4-2-2-020（塵芥収集事業） 塵芥収集事業	庁舎	15,470				15,470	一般廃棄物の収集運搬業務を適正に実施する
40	市民福祉課	4-2-2-025（ごみ減量・リサイクル推進事業） ごみ減量・リサイクル推進事業	庁舎	103			31	72	資源リサイクルステーション（2ヶ所）を設置し、一般廃棄物の減量及び再利用の促進を図る
41	市民福祉課	4-3-2-050（生活環境保全対策事業） 生活環境保全対策事業	庁舎	230				230	産廃処理施設跡地周辺の水質検査の実施により、生活環境の維持、保全を図る

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
42	産業建設課	2-1-7-550（地域まちづくり未来事業） ※産業振興施設整備事業	庁舎	2,693				2,693	地域内課題である、農業振興、地域循環、観光の拠点となる施設を整備する（H31年度：実施計画作成）
43	産業建設課	2-1-7-550（地域まちづくり未来事業） 伝統料理の継承事業	庁舎	150				150	地域内の高齢者を講師として昔ながらの行事食、伝統食の講習会を実施する
44	産業建設課	6-1-3-050（農業担い手づくり支援事業） 地域担い手育成支援事業	本所	58,610	58,610				新規就農者や意欲ある多様な経営体の、経営規模の拡大や多角化に向けた取組みを推進するため、機械施設等の整備費用の支援を行う
45	産業建設課	6-1-3-055（鶴岡産農産物消費拡大事業） そば消費拡大事業補助金 月山ワインまつり運営事業補助金	本所 庁舎	1,190				1,190	食育・地産地消推進計画に基づき、地産地消の取組みを推進し安全安心な農畜産物の提供と地域農業を支える仕組みをつくる 庄内あさひ新そばまつり補助金 280 月山ワインまつり運営事業補助金 400
46	産業建設課	6-1-3-085（農地集積推進事業） 農地集積推進事業	本所	64,128	64,128				地域の中心となる経営体へ農地を集積するための支援事業
47	産業建設課	6-1-4-025（経営所得安定対策推進事業） 直接支払推進事業費補助金	本所	51,700	45,500			6,200	経営所得安定対策に係る水田情報把握、現地確認等を把握し、制度を円滑に運用する
48	産業建設課	6-1-4-040（農業生産一般支援事業） 米の安全品質管理対策事業	庁舎	978	150			828	安全な米の生産を推進するため、西大鳥地区における土壌の安全管理に向けた対策を行う
49	産業建設課	6-1-4-045（環境保全型農業直接支払事業） 環境保全型農業直接支払事業補助金	本所	80,868	60,000			20,868	環境にやさしい農業を推進するため、特別栽培を基本とする農業を実践する農家に対して支援を行う。
50	産業建設課	6-1-4-060（特産物生産推進支援事業） 園芸作物種苗導入支援事業補助金	本所	721				721	競争力のある園芸作物の生産と産地化を推進するために、水田に新規に作付けする事を支援する対象品目は、野菜（山菜）・果樹とし、補助基準は、20,000～30,000/10aの補助

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
51	産業建設課	6-1-4-080（特産物販売促進支援事業） 墨田区での特産物販路拡大事業	庁舎	1,374				1,374	都市間交流を最大限に活用した農作物の販路拡大のため、友好協力都市である墨田区の、すみだまつり・墨田わんぱく雪まつりでの物販活動を行う。
52	産業建設課	6-1-4-170（豪雪被害対策農業支援事業） 融雪遅延対策事業	本所	5,324				5,324	豪雪による農作業の遅れを防ぐため、市管理農道における除雪のほか、管理団体が実施する農道・農業用施設・樹園地・苗代の除排雪経費の支援を行う
53	産業建設課	6-1-4-550（地域まちづくり未来事業） 「里山の幸」販売推進事業 *山ぶどう産業自立化支援事業	庁舎	2,000				2,000	朝日地域の特産品（月山ワイン等）の生産量を増やし、地域住民の出荷による所得向上を図るために、首都圏における営業活動に対する支援を行う
54	産業建設課	6-1-4-550（地域まちづくり未来事業） ※山の恵み産地化事業	庁舎	2,200				2,200	山菜種苗の導入補助や栽培実証実験・技術研修に開催により山菜栽培を拡大する事業として実施する
55	産業建設課	6-1-5-020（中山間地域等直接支払交付金事業） 中山間地域等直接支払交付金	本所	(市全体) 252,288	189,216			63,072	対象農地の関係者による集落協定の承認、並びに中山間地域の農業生産条件不利地において、5年以上農業を続ける農業者に対して協定に基づき交付金の交付（第4期：H27～H31）
56	産業建設課	6-1-5-050（鳥獣被害対策事業） 鳥獣被害対策実施隊員報酬	本所	(市全体) 4,568				4,568	管内の猟友会が実施する有害鳥獣（サル・熊）の捕獲業務の報酬
57	産業建設課	6-1-5-050（鳥獣被害対策事業） 農作物被害防止対策事業費補助金	本所	(市全体) 2,870				2,870	電気柵・防鳥ネット等の購入への補助のほか、地域住民が取り組む被害防止活動に対する支援
58	産業建設課	6-1-5-050（鳥獣被害対策事業） 鶴岡市鳥獣被害防止対策協議会補助金	本所	(市全体) 5,100				5,100	鶴岡市鳥獣被害対策協議会への補助 猟友会による巡回業務・追払い用火火の配布等

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
59	産業建設課	6-1-7-020(農業関連施設等維持管理事業) 大平体験農園事業補助金	庁舎	400				400	大平高原わらび園事業への補助
60	産業建設課	6-1-7-020(農業関連施設等維持管理事業) 農道維持管理原材料支給事業	庁舎	1,402				1,402	集落管理農道補修用の砂利・コンクリートの支給及び施設木部用塗料購入
61	産業建設課	6-1-7-020(農業関連施設等維持管理事業) 農道維持管理事業	庁舎	521				521	上野山農道及び高速道路農道管理業務委託料
62	産業建設課	6-1-7-055(市単独土地改良事業) 市単独土地改良事業	本所	(市全体) 1,950				1,950	農業者等で組織する団体が行う事業で、国、県の補助事業採択基準に満たない土地改良事業に対し、事業費の10分の3以内の額を補助
63	産業建設課	6-1-8-020(多面的機能支払活動支援事業) 多面的機能支払活動支援事業	本所	(市全体) 980,000	735,000			245,000	農村の高齢化・過疎化等の進行により、共同活動で支えられていた農用地・水路・農道等の多面的な機能の発揮に対し、地域の共同活動を支援し農業の多面的機能の維持・発揮を図る
64	産業建設課	6-2-5-030(林道維持管理事業) 林道維持管理事業	庁舎	(市全体) 3,753				3,753	市管理林道の維持管理に必要な路面補修用の原材料費及び修繕料
65	産業建設課	6-2-5-030(林道維持管理事業) 林道管理業務委託	庁舎	(市全体) 2,317				2,317	市管理基幹林道の草刈り作業業務委託料 花戸線・荒沢線・本郷松沢線
66	産業建設課	6-2-2-095(森林公園等施設管理事業) 古の里森林公園施設設備維持管理	庁舎	796				796	月山あさひ博物村の「古の里森林公園」の維持管理及び遊具修繕
67	産業建設課	6-2-2-140(企業の森づくり推進事業) ノコトぶな公園絆の森水源の森づくり事業	庁舎	182	182				県企業局絆の森水源の森づくり事業をノコトぶな公園等月山ダム周辺で実施(県みどり環境税交付金事業)

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
68	産業建設課	6-2-2-550（地域まちづくり未来事業） ※ 森林荒廃防止事業補助金	庁舎	200			200		計画的な伐採により、きのこ栽培のための材を確保し、山林の荒廃を防ぐ事業
69	産業建設課	7-1-4-020（観光一般事業） タキタロウ館管理運営事業	庁舎	1,200				1,200	タキタロウ館の管理運営委託
70	産業建設課	7-1-4-020（観光一般事業） あさひむら観光協会運営補助金	庁舎	3,430				3,430	観光協会への運営費補助金
71	産業建設課	7-1-4-020（観光一般事業） 六十里越街道活用事業補助金	庁舎	1,020				1,020	六十里越街道を活用したイベント等の開催や案内板作成、環境整備に対する補助金
72	産業建設課	7-1-4-020（観光一般事業） 六十里越街道地域連絡協議会負担金	庁舎	200				200	鶴岡市・西川町における六十里越街道を通じた広域連携事業（共同事業・広域観光推進等）に対する負担金
73	産業建設課	7-1-4-030（観光地美化整備事業） 大鳥池避難小屋修繕	庁舎	320				320	大鳥池避難小屋の修繕（火災報知器設備交換）
74	産業建設課	7-1-4-030（観光地美化整備事業） 登山道、避難小屋管理事業	庁舎	1,351				1,351	大鳥池山小屋、湯ノ沢岳登山道、摩耶山登山道、田麦俣登山道等、施設整備等
75	産業建設課	7-1-4-030（観光地美化整備事業） 自整協朝日支部交付金	庁舎	523				523	自然公園保全整備促進協議会朝日支部交付金
76	産業建設課	7-1-4-030（観光地美化整備事業） 国立公園内登山道維持補修管理事業	庁舎	1,318	1,318				国立公園内登山道の刈払い及び吊橋等維持補修

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
77	産業建設課	7-1-4-030（観光地美化整備事業） 登山道、避難小屋管理事業	庁舎	351				351	以東岳避難小屋の維持管理負担金として、山形県と同額を負担し、適切な維持管理を行う
78	産業建設課	7-1-4-040（まつり振興事業） タキタロウまつり運営事業補助金	庁舎	1,291				1,291	実行委員会が主催するタキタロウまつり運営費に対する補助金
79	産業建設課	7-1-4-040（まつり振興事業） 月山あさひ雪まつり運営事業補助金	庁舎	192				192	実行委員会が主催する雪まつり運営費に対する補助金
80	産業建設課	7-1-4-550（地域まちづくり未来事業） ※観光市営バス運行事業	庁舎	3,470				3,470	現在運行している市営のバスを有効に利用し、登山シーズン期間、観光シーズンを中心に土日祝日の観光客の二次交通を確保する
81	産業建設課	7-1-4-550（地域まちづくり未来事業） 食と六十里越街道トレッキング連携事業	庁舎	300				300	地場産の新そばや月山ワイン新酒、季節に応じた山の幸など旬を組み合わせた食材を六十里越街道トレッキングイベント等で提供することにより、鶴岡市全体の食文化PRと地域振興を図る
82	産業建設課	7-1-4-550（地域まちづくり未来事業） 大鳥地域淡水活性化事業	庁舎	250				250	赤川漁協が行うヒメマス稚魚の放流を支援することで、大鳥池におけるヒメマス資源の一定確保を図る。また、これにより、釣り客をはじめ朝日連峰への誘客の増加を促し、山村地域の活性化を推進する
83	産業建設課	7-1-4-550（地域まちづくり未来事業） タキタロウネット活用事業	庁舎	100				100	携帯電話不感地帯における朝日連峰山間部でデジタル簡易無線を所有する登山者との情報共有できるコミュニティネットの運用、PR
84	産業建設課	7-1-5-055（月山あさひ博物館管理運営事業） 月山あさひ博物館管理運営事業	庁舎	14,564				14,564	月山あさひ博物館の管理運営委託
85	産業建設課	7-1-5-055（月山あさひ博物館管理運営事業） 月山あさひ博物館管理運営事業	庁舎	1,100				1,100	道の駅月山の駐車場の舗装修繕他

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
86	産業建設課	7-1-5-550（あさひ自然体験交流施設管理運営事業） あさひ自然体験交流施設維持管理事業	庁舎	28,022		28,000	22		湯殿山スキー場第1、第3ロマンスリフト修繕
87	産業建設課	8-2-2-020（道路維持事業） 交通安全施設維持補修事業	庁舎	1,991			1,991		防護柵、区画線（工事含む）
88	産業建設課	8-2-2-020（道路維持事業） 市道維持補修・道路美化・草刈作業	庁舎	3,162				3,162	道路維持補修：舗装補修（パッチング）など 道路美化：国・県道沿いに花植え 草刈作業委託：7自治会等及び6路線
89	産業建設課	8-2-3-020（道路新設改良事業） 小規模市道改良舗装工事	庁舎	1,122		1,122			市道日鏡線側溝改良工事 （工事）
90	産業建設課	8-2-6-020（除雪対策事業） 市道除雪事業	庁舎	69,158				69,158	除雪路線：92.5km
91	産業建設課	8-2-6-030（克雪対策生活道整備事業） 生活道整備事業補助金	庁舎	500				500	舗装、機械購入等整備に対する補助金 補助金上限：500千円
92	産業建設課	8-2-7-20-2（道路公共事業）（過疎） 道路改良工事	本所	25,000		25,000		0	①市道野中漆原線 15,000千円 ②上田沢倉沢線 10,000千円
93	産業建設課	8-3-2-025（ダム対策費） 月山ダム公園維持管理事業	庁舎	2,298			2,298		ダム公園内トイレ清掃、樹木管理事業、除草委託、ダム周辺整備事業、緑地管理
94	産業建設課	8-7-1-035（克雪タウン計画促進事業） 克雪住宅整備支援事業補助金	庁舎	1,000	500			500	耐雪、融雪、落雪型等住宅整備に対する支援補助金（補助金上限：500千円）

※印は「新規事業」

(単位：千円)

No.	担当課 室名	款・項・目・細目（細目事業名） 事業名	予算 区分	事業費	財 源 内 訳				事 業 内 容
					国県 支出金	地方債	その他	一般財源	
95	スポーツ課	10-5-1-35(総合型地域スポーツクラブ活動支援事業) 鶴岡市総合型地域スポーツクラブ活動支援事業補助	本所	4,127				4,127	クラブマネージャー、各種教室、サンスポーツクラブ支援
国民健康保険特別会計									
1	市民福祉課	直営診療施設勘定	庁舎	41,671			15,382	26,289	国保直営診療施設として上田沢診療所及び大網診療所を管理・運営し、無医地区における医療の確保及び地区住民の健康保持増進に寄与する
介護保険特別会計									
1	市民福祉課	3-5-2-030（家族介護者支援事業） 家族介護者交流支援事業	庁舎	233			233	0	在宅で要介護状態の高齢者を介護している家族に、リフレッシュ・情報交換・相互交流・介護相談等の機会を提供し、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図る
2	市民福祉課	3-5-3-070（食の自立支援事業） 食の自立支援事業	庁舎	61			61	0	調理の困難なひとり暮らし高齢者等に、栄養バランスがとれた食事を定期的に提供し、高齢者の自立した在宅生活の継続と介護予防の推進を図る

【朝日庁舎】小規模修繕事業 平成31年度予算

資料 4

単位：千円

款 項 目	事 業 名 称	事 業 の 概 要	予 算 額 計	
2-1-13-25-59	広域コミュニティ推進事業	中央コミュニティセンター受電設備修繕	440	2,300
		中央コミュニティセンター階段部補修	620	
		中央コミュニティセンター喫煙室撤去	50	
		中央コミュニティセンター照明器具修繕	490	
		中央コミュニティセンター駐車場区画線修繕	253	
		南部コミュニティセンター暖房修繕	161	
		中央コミュニティセンター畳表替え	260	
		その他、小修繕	26	
3-1-5-50-59	朝日高齢者等活動支援施設運営事業	ふっくら避難誘導灯修繕	380	1,360
		ふっくら屋根修繕	980	
10-5-2-150-59	体育施設総務管理事業	朝日スポーツセンターシャワー設備修繕	700	2,040
		朝日スポーツセンタートイレ洋式化(2基)	1,340	
8-5-3-25-59	農村公園管理費	大針農村公園四阿屋根修繕	800	800
7-1-5-55-59	月山あさひ博物館管理運営事業	道の駅インターロッキング補修	248	1,100
		道の駅駐車場修繕	600	
		道の駅駐車場区間線補修	200	
		その他、小修繕	52	
7-1-4-20-59	観光一般事業	タキタロウ館養殖場屋根修繕	775	800
		その他、小修繕	25	
2-1-1-25-59	庁舎管理業務	朝日庁舎施設修繕	1,000	1,000
6-2-2-95-59	森林公園整備事業	古の里遊具修繕(安全点検による不適部改修)	200	200
6-1-5-45-59	施設管理事業	産直グー屋根雨漏修繕等	400	400
	合 計		10,000	10,000

* 平成31年度当初予算段階での実施予定事業であり、緊急修繕や修繕金額に変更が生じた場合は、事業内容を変更して修繕を行う場合があります。